

三鷹第三船舶試験水槽50周年記念講演会

流体設計系長 辻本 勝

三鷹第三船舶試験水槽

昭和46年3月25日完工

昭和47年 試験開始

長さ150m、幅7.5m、深さ0~3.5m (可変)

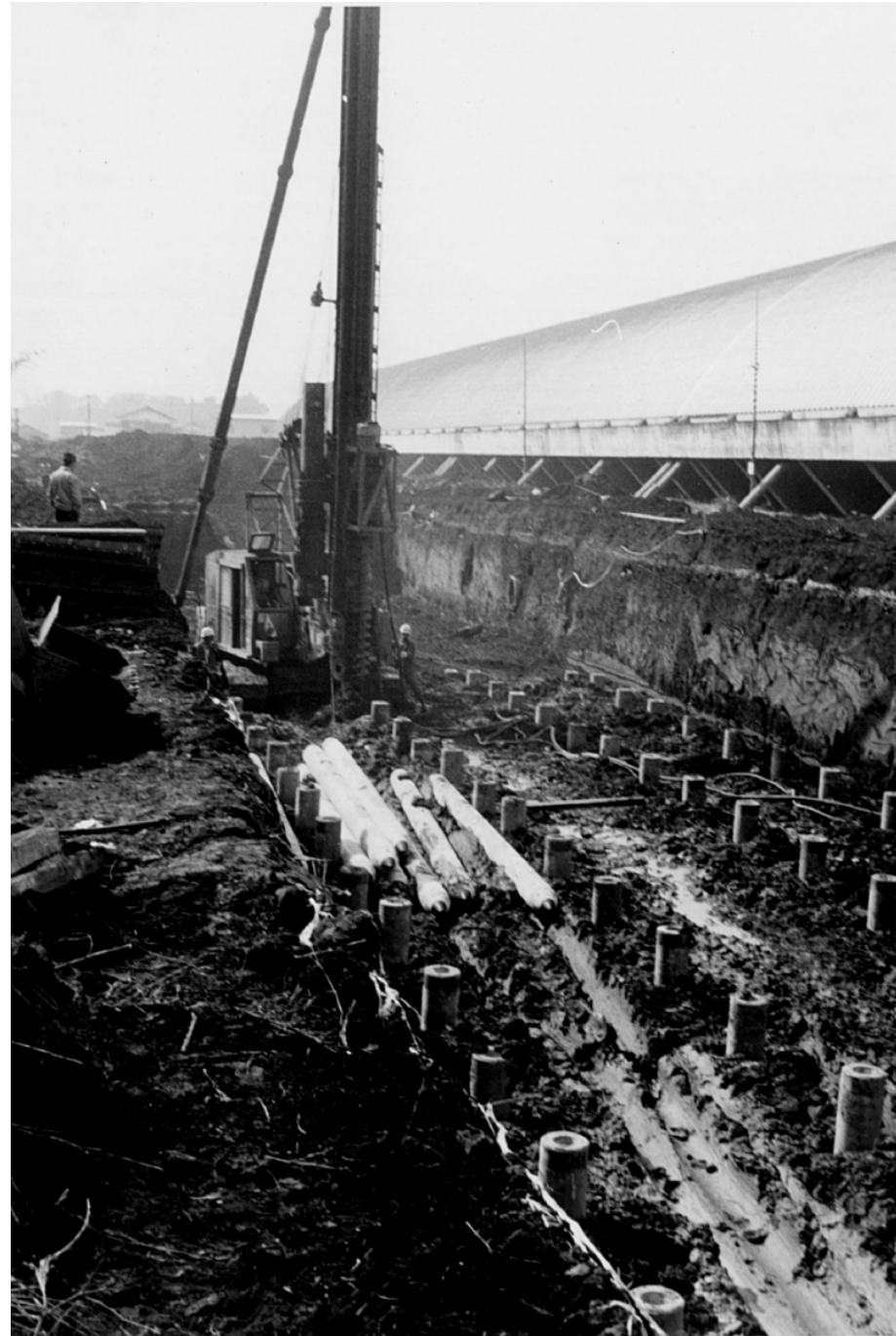
曳引車速度：最大6m/s

造波機、副台車 (送風装置付) 設置



三鷹第三船舶試験水槽

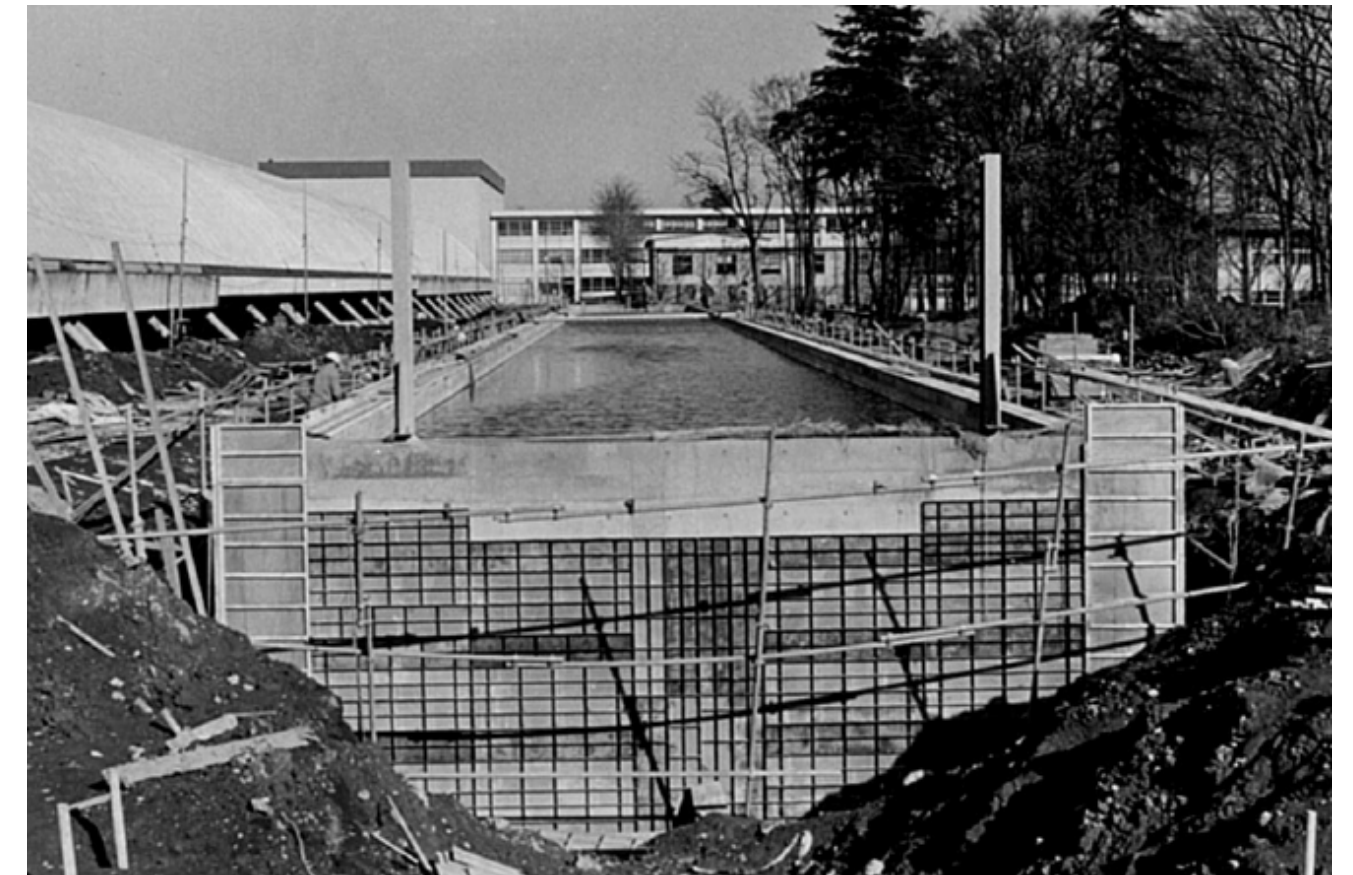
建設時の様子（昭和45年～）



基礎工事



水槽工事



注水試験



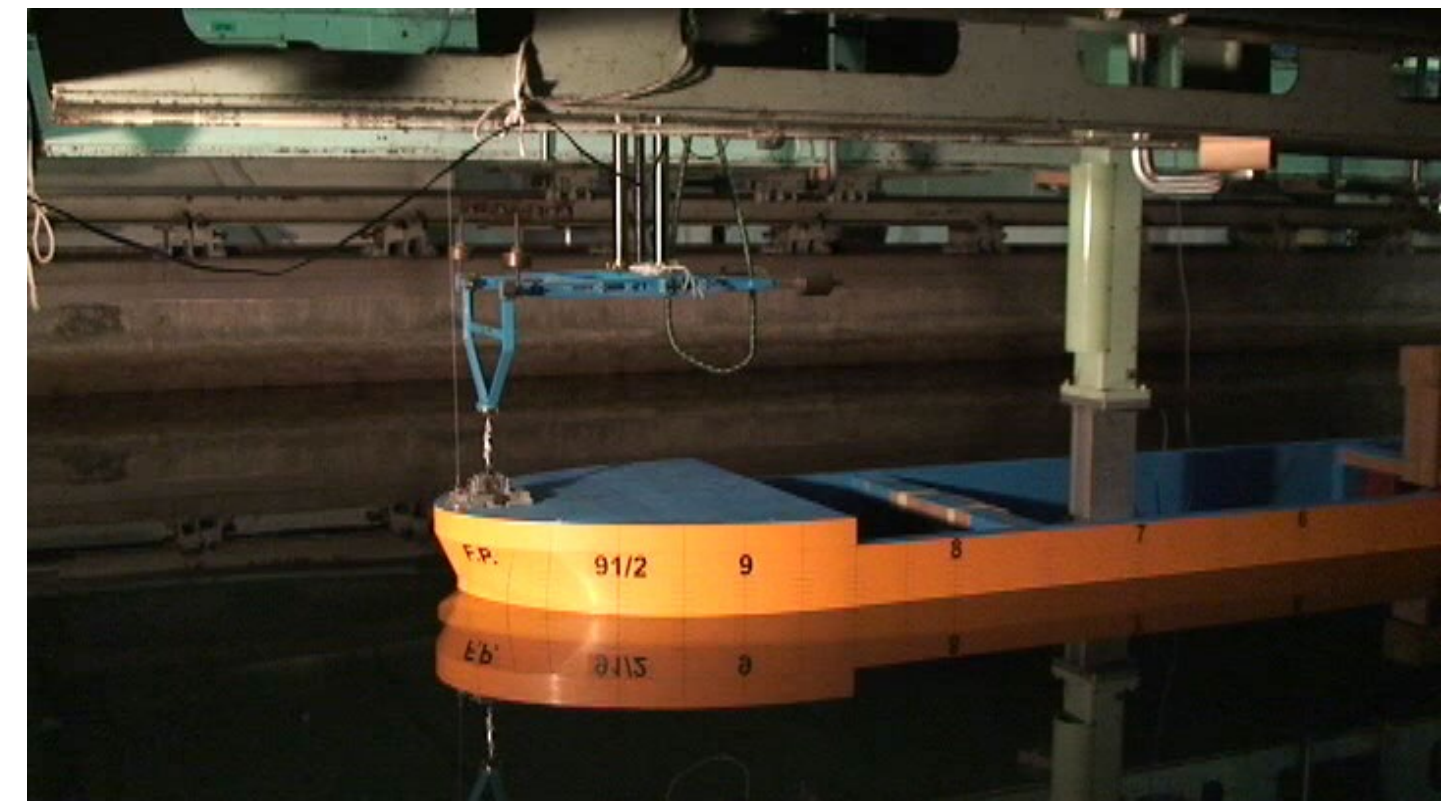
建屋工事

三鷹第三船舶試験水槽

現在の様子



曳引車



三鷹第三船舶試験水槽

設備更新

1996年 制御システム更新

2007年 造波機更新

2014年 シーケンサ盤更新（自動運転対応）

2022年 曳引車ACモーター化更新（マトリックスコンバータ方式）

軽量化

速度制御改善



講演

1. 中長期ビジョンと中水槽の将来像
2. 中水槽の概要
 - 沿革・施設・機能
3. 中水槽を利用した研究の紹介
 - 浅水試験／EEDIweatherの予備認証試験／船体弾性振動計測試験／ライザー管の渦励振（VIV）計測試験
 - 中水槽でのPIVの利用
 - 水槽試験における不確かさ評価
4. 自動計測システムの説明
5. オンライン立会システムによる自動計測システムの体験

